

担当医
担当看護師
配布日

	入院:1～2病日 / /	3病日	4病日	5～6病日 / /	7病日	8病日	9病日	10～11病日 / /	12病日	13病日	14～18病日:退院 / /	
	手術2～1日前	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2～3日目	手術後4日目	手術後5日目	手術後6日目	手術後7～8日目	手術後9日目	手術後10日目	手術後11～15日目
達成目標	・手術後の経過について理解できる		・チアノーゼがない ・痰の喀出ができ、呼吸困難がない ・嘔気、嘔吐がない ・喘鳴がない ・創部の腫脹、皮下気腫がない ・痛みによる苦痛がない						・ダンピングの症状がない			・退院指導の内容を理解できる
内服	・薬剤師が、持参薬及び服薬状況について確認します 					・痛み止めを1日3回、毎食後に内服します(毎日) ・胃薬を1日1回、朝食後に内服します(毎日) 						
手術		手術 										
注射		・点滴をします 				・点滴を抜きます						
検査	・採血/レントゲン(入院日) ・身長・体重測定(入院日) 	・体重測定	・採血 ・レントゲン 	・採血 ・レントゲン 	・採血/レントゲン (手術後2.3日目)	・採血 ・レントゲン 	・採血 ・レントゲン 	・採血 ・レントゲン 	・嚥下の透視造影 (手術後7日目)			・体重測定 (退院日) 
処置	・胸部を除毛します ・おへそをきれいにします ・寝る前に下剤を内服します (手術1日前)	・朝、浣腸をします ・弾性ストッキングを着用します	・手術室で尿の管を入れます ・フットポンプをつけます	・尿管の管を抜きます ・フットポンプを外します ・歩行後は、弾性ストッキングを脱ぎます					・創部のドレーンを 抜きます	・創部を確認し、必要時は消毒をします 		
			・手術室で創部にドレーン(管)を入れます ・手術室で経腸チューブを入れます ・人工呼吸器を装着します ・人工呼吸器を外します ・心電図、酸素飽和度モニターをつけます ・6時間ごとに血糖測定をします(6時、12時、18時、24時)(毎日) 	・吸入をします(1日3回)(毎日)				・心電図、酸素飽和度モニターを外します				
食事	・制限はありません	・絶飲食です 	・経腸チューブから経腸栄養剤の注入を開始します ・経口での摂取はできません						・造影後、問題がなければ流動食を開始します	・摂取状況に合わせて、食事形態を変更します		
活動・安静	・制限はありません	・病棟内で過ごしてください	・ベッド上安静です ・排便はベッド上で行いますので、ナースコールでお知らせください	・人工呼吸器を外したら、坐位や立位の練習をします	・制限はありません ・初めて歩くときは看護師が付き添いますので、ナースコールでお知らせください 							
清潔	・除毛後にシャワー浴をしてください	・洗面、歯磨きを済ませてください	・口腔ケアを介助します ・身体を拭きます 							・シャワー浴ができます		
説明	・入院オリエンテーションを行います ・医師が手術の説明をします ・手術室の看護師が、手術に伴う確認や諸説明をします ・本用紙を用いて、治療スケジュールについて説明します ・転倒転落予防について説明します ・術前オリエンテーションを行います ・集中治療室入室について説明します										・「胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術を受けた患者さんへ」のパンフレットを用いて、退院後の生活について説明します ・経腸チューブの管理(チューブの固定テープの貼り方や白湯の注入方法など)について説明します	
その他	・同意書は職員にお渡しください ・手足の爪を切り、マニキュアは落としてください ・化粧品は落としてください ・集中治療室に入室する際に持参する物品をまとめてください	・手術衣に着替えます ・全ての荷物を看護師と一緒に家族控室のロッカーに入れます ・義歯、コンタクトレンズ、時計、アクセサリ等は外し、各自保管してください。メガネと補聴器は必要時、手術室までつけていけます ・貴重品は、ご自身又はご家族で管理してください ・ご家族は3階デイルーム・面談室で待機してください。場所を移動される時は必ず職員へお声掛けください	・痛みがあれば鎮痛剤を使用しますので、我慢せずにお知らせください 	・集中治療室に入室します ・集中治療室前の家族控室をご利用ください	・状態に合わせて病室に移動します							

なんでも
ご相談
ください